

●犠牲を強要せんとするものである。

二
我々資本主義下の世界資本主義の傾向は、必然的に、労働階級の政治的系に経済的自覚と團結を、急速に促進せしめつつある。深刻化し行く労働生活の不安と、世界戦争の危機の切迫の中、前記の資本主義死命の不合理に目覚めたる労働者は、労働組合と生産破壊の旗を下げ、勇敢なる闘争をつづけてつづける。

三
かかる情勢の下に立ち立つ労働組合運動は極めて多事多難である。我々は資本家階級の暴圧に對抗して、我々の團結を根柢たる労働組合を死守せんと共に、他方、労働大衆の日常利益を忠実に代表し、恒に階級的立場を放棄して、勇敢なる闘争を遂行するに非ざれば、労働組合としての使命を果たすことが出来ない。

三

我々の関東製紙従業員会は、我々資本主義の下の情勢と、労働組合の多事多難の中にあつて、木場三千の同職労働者の信託と支持の下に生れ長。

我々製紙産業の中心地たる木場における我々の團結と闘争こそ日本の製紙労働者を社会的地位の向上と解放を代表する重大なる使命を帯びてありである。

思ふに、我々の従業員会は、その生誕後、日高浅しと居ても、従業員会の旗の下に結束せる同志は、物此も、過去数年間の木場に於ける、実践的闘争の訓練を経たるものにして、我々の旗こそは過大の闘争を批判し、その誤りを清算し、(関東製紙労働組合及関東製紙産業労働組合)は有名無実の裡に破産しつつあり、共に、我々の木場三千の大衆の日常利益を代表し、その闘争を遂げて解放戦線の再建を遂行すべく、勇敢に懸念したるものである。

我々は今後、一切の觀念的小児病的傾向を排し、同時に、現実的な眼から見て、徒らに資本家と妥協苟合して、率に解放のためを戦ふべきか如き老翼的傾向も蹴飛ばし、階級的立場を放棄して日常の闘争に邁進し、以て、木場三千の労働者の破壊たらんことを期するものである。

本場の同職兄弟を!! 我々の雄略は成った!!
来りて我々の労働者解放のためを戦へ!!

関東製紙従業員會 大會 万々!!

昭和四年四月二十一日

日本労働組合同盟

関東製紙従業員會 第一回大會